



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2020~2021)

- ・国際会長 価値観、エクステンション、リーダーシップ
Jacob Kristensen (デンマーク)
- ・アジア太平洋地域会長 変化をもたらそう
David Lua (シンガポール)
- ・西日本区理事 主題 "Let's do it now"
副題 "2022に向け誇りを持って All is well"
古田 裕和 (京都トゥービーワイズメンズクラブ)
- ・六甲部 部長主題 行動に信念を、信念は行動に
Believe in what you do. Do what you believe in.
安行 英文 (さんだワイズメンズクラブ)

2020年12月

872号

《74期6号》

since 1948. 5. 17

スポンサークラブ
大阪クラブ
DBC
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員

会 長	万本 敬一
直前会長	小野 勅紘
副会長(次)	廣瀬 一雄
副 会長	石井 恭子
書 記	濱崎 進一
書 記	山口 吉郎
会 計	小野 勅紘
会 計	重村 仁
監 事	阪根 新
監 事	山本 常雄
広報事業委員長	小野 勅紘
区LD委員	馬場 貴英
区組織検討	山口 吉郎
担当主事	藤田 良祐

・西宮クラブ会長 万本 敬一

会長主題 報・連・相 医食同源

2020年12月 西日本区強調ポイント EMC-E

YES

次の世代、新しいクラブ設立の為に、YES献金を100%

竹園 憲二 EMC 事業主任 (京都 ZERO クラブ)

西宮ワイズメンズクラブ 2020年12月例会プログラム

12月第一例会を以下のように計画していましたが、
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止と
いたしました。

今月の聖句

「神は独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、私
たちが生きようになるためです。ここに、神の愛が私たちの
内に現されました。」 ヨハネの手紙 一 4章9節
聖書協会共同訳 山口政紀メン 選

日時：2020年12月11日(金) 19:00~20:00

会場：西宮YMCA3F C 教室

ドライバー：濱メン、阪根メン

プログラム：19:00~20:00 (司会：濱メン)

開会点鐘 万本会長

ワイズソング 一同

聖書朗読・祈祷 山口政紀メン

メンバースピーチ「コロナ終息を願って or 近況報告」

お誕生日お祝い

ワイズニュース 万本会長

YMCA ニュース 藤田館長

閉会挨拶・閉会点鐘 万本会長

11月例会出席状況	在籍会員数	22名
第1例会(13名)	第2例会(27名)	
メン 17名	メン 10名	
メネット 0名	メネット 0名	
ゲスト 2名		
合計19名	合計10名	
MU 0名 合計17名	出席率 77.3%	

	11月	20-21年度累計
ニコニコファンド	¥4,000	¥17,000
BF@300	¥4,800	¥17,100
東日本震災@200	¥3,200	¥11,400

Happy Birthday To You 12月

お誕生日おめでとうございます

1日 馬場 めぐみメネット

8日 山口 まり子メネット

会長メッセージ

会長：万本 敬一メン
カレンダーもあと1枚になりました。今年は忘年会の予定は一件有るのみで静かな師走となりそうです。



さて、ワイズの交流活動についても期初に予定された、西日本区大会、カーニバル、チャリティーラン等の行事が殆ど中止となり、印象に残る行動がありませんでしたが、ジャガイモファンドが予想以上の成績となり、次年度以降も継続出来る見込みが出来た事は明るい材料となりました。又、コロナ感染対策についても会社や個人での実行が生活習慣の一部となり慣れて来た感じもします。しかし、明るく楽しい交流をするのが健康にも良いのは明白です。少しずつでも交流活動が進むように努力しましょう。

11月第一例会報告

ドライバー 藤原百合子メン、馬場一郎メン



11月13日（金）、第一例会が持たれました。今回は「西宮 YMCA の現状とこれから」と題して西宮 YMCA 保育園園長、西宮つとがわ YMCA 保育園園長の谷川尚さんにお話をいただきました。谷川さんは西宮 YMCA 全体の統括の役割も取っておられ、保育園だけではない西宮 YMCA 全体のお話をお聞きすることができました。

コロナ禍の中、公益財団法人の活動が縮小、中止となり、苦しい経営状況でやっていけないという現在の、谷川さん自身の思いを聞かせて頂くことができました。彼自身のキャンプとの関り、YMCA との関り、さまざまな方との出会いを通して神戸 YMCA に奉職されたこと、そして何よりも、人と人との関係やつながりを大切にされてきたことがお話しされました。西宮ワイズに対しても、もっと一人ひとりとのつながりを持ちたいとの願いも語られました。大変厳しい状況だからこそ、YMCA として何を大切にしていかなければならないかを語っていただいたように思います。

コロナの予防対策のため、西宮 YMCA 西館 3階にて、食事なしで時間を短くして行いました。藤原ウイメン司会で開会点鐘（万本会長）、ワイズソング、聖書朗読（藤原ウイメン）、開会祈禱（山口政紀メン）、ゲスト紹介（馬場一郎メン）という流れで、谷川さんにお話しいただきました。後半は YMCA カレッジの坂本主事からポジティブネット募金の報告とお礼があり、ワイズニュース、YMCA ニュース、お誕生会と続き午後 8 時 40 分にはお開きとなりました。出席は万本会長、山口政紀メン、山口吉郎メン、小野メン、重村メン、濱崎メン、濱メン、岡田メン、岩田メン、廣瀬メン、足立メン、浅野メン、阪根メン、山本メン、藤田担当主事、坂本主事、谷川主事、そしてドライバーの藤原ウイメンと馬場の計 19 名でした。コロナ対策をしながらですが、大事な集まりをこれからも続けていければと、願っています。

【ジリオラ】

山口まり子メネット

毎年楽しみのクリスマス祝会が中止となり大変残念です。廣瀬ブリテン委員長より 12 月生まれとしてご依頼があり寄稿します。今年に入ってからにはコロナ禍の影響

で皆様と同様に自粛生活を余儀なくされています。長年続けたカントリーダンスも8月から中断しています。介護施設にお世話になっている母との面会も10分間月2回までと制限付でなんとも歯がゆい思いです。さらに昨年に愛犬フイオを14歳直前で失ない、犬大好き人間としては何か足りない毎日でした。そんな中、一大決心をしてゴールデンレトリバーの子犬を迎えました。



名前はジリオラ通称ジルです。現在5か月、体重15kg。どんどん大きく育っています。さあさあ気合を入れて足腰鍛えなくては、がんばります。



YMCA ニュース

担当主事：藤田 良祐メン

2020年も残すところ1ヶ月となりました。今年を振り返れば1月から中国武漢で新型コロナウイルスの発症が報道され始め、1月下旬にはクルーズ船が話題になりました。2月には国内での感染増加が話題になり始め、YMCAにおいても感染症対策が難しいキャンプの中止を決定する等の対応を開始しました。4月には国内感染者数が更に増加し、緊急事態宣言が発令され、YMCAでも多くのプログラムを休講とする対応を取らざるを得ませんでした。6月からは徐々に制限が緩和され多くのプログラムを再開しましたが、今また感染拡大の第3波による難しい局面を迎えています。このように新型コロナウイルスに翻弄された1年でしたが、それはユースリーダー

一達にとっても難しい時間でした。新型コロナの影響で思うように活動ができない、仲間集めが出来ないもどかしさを抱えていましたが、先日のファミリープログラムでは久しぶりに西宮 YMCA に集うことが出来た喜びを語ってくれました。YMCA はやはり、ユースリーダーが集ってこそその場であることを強く感じた1日でした。今後もコロナの影響は続きますが、出来ることを工夫しながらリーダー達と歩みを共にしていく、そんな2021年になることを願っています。

1. 西宮 YMCA ファミリープログラム

11月23日(月・祝)に西宮 YMCA ファミリープログラム「国際協力チャリティウォーク」を実施しました。5家族17名がご参加くださり、西宮 YMCA から夙川沿いを歩いて北山公園を目指しました。夙川沿いでは、ユースリーダーによるネイチャービンゴなど様々なプログラムを楽しんでいただき、秋の自然を楽しむことができました。コロナ禍で多くの方々が困難な状況にありますが、世界ではコロナに関係なく支援を必要とする方がいることを覚え、当日参加された方々からの参加費、及びボランティア・スタッフからの募金を合わせて¥17,324が集まりました。



これは神戸 YMCA 国際協力募金に捧げさせていただきました。

今回は、コロナの感染拡大が報じられる時期であったため参加者も少なく、実施するかどうか難しい判断であったため、西宮クラブの皆様にはご参加いただきませんでした。いつも西宮 YMCA ファミリープログラムをご支援いただいていることを覚え、心より感謝申し上げます。

2. サポートプログラム

西宮 YMCA サポートプログラムはコロナの影響もありますが、感染症対策を講じた上で、少人数のウイークリークラスを実施しています。(一部のクラ

スはオンラインクラスを併用しています。) マンスリープログラムはグループ活動によるコミュニケーションを



図ることが大きな目的の一つですので、オフラインでのプログラムを実施していますが、大人数での移動は感染症のリスクが高まるため現地集合・解散でプログラムを行っています。11月は12名の中高校生メンバーと舞子へ釣りに出かけました。秋晴れの空の下、JR舞子駅で集合してお弁当を食べ、仲間と一緒にサビキ釣りに挑戦しました。糸が絡まったり、根がかりしたり、トラブルはつきませんでした。豆アジも何匹か釣れて楽しい1日になりました。

3. 今後の予定

(1) 神戸市民クリスマス中止のお知らせ

今年で62回目を迎えるべく準備を進めていた「神戸市民クリスマス」ですが、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、中止となりました。例年、西宮クラブの皆様にご支援いただいておりますことに改めて感謝申し上げますとともに、お知らせさせていただきます。

(2) 国際協力街頭募金中止のお知らせ

例年12月2週目の日曜日に神戸大丸前で実施しておりました国際協力街頭募金も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、残念ながら中止とさせていただきます。

ワイズニュース

【今後の予定】

12月7日(月) 18:30～ ワイズ六甲部各会長・パートナーシップ委員合同懇談会

@神戸YMCA 三宮会館 (出席予定: 万本会長、藤田メン)

12月11日(金) 19:00～ 第一例会 **新型コロナ感染拡大防止のため中止**

12月25日(金) 19:00～ 第二例会 西宮YMCAにて実施予定

2021年1月8日(金) 19:00～ 第一例会 **新型コロナ感染拡大防止のため中止**

2021年1月22日(金) 19:00～ 第二例会 西宮YMCAにて実施予定

編集後記 プレゼン委員長 廣瀬 一雄

先日、友人たちと三木鉄道跡地遊歩道、“別所”ゆめ街道”を歩きました。別所ゆめ街道の全長は約4.8km。四季折々の景色と三木鉄道運航当時の信号機や標識、看板などの痕跡を楽しみながら散策できました。三木鉄道は平成20年、2008年に廃線となりました。鉄道時代の歩みとしては、1911年に播州鉄道株式会社が設立。1916年、加古川の厄神～別所間が営業開始(三木線)1917年、別所～三木間が営業開始。1923年、播丹鉄道へ経営譲渡。1943年、国有化。



1948年、日本国有鉄道になる。1984年2月、第三セクター方式への転換が決定。

1984年10月三木鉄道株式会社が設立。1985年、三木鉄道が営業開始。2007年、三木鉄道の廃止が決定。2008年、三木鉄道が廃線となる。2018年3月、三木鉄道線路痕が別所ゆめ街道”として整備されました。”三木鉄道は、国鉄から線路を引き継いでJR加古川線厄神駅と三木駅間の6.6kmをやく14分で結んでいました。私達も加古川市の厄神から三木市まで歩きました。帰路は神戸電鉄、上の丸駅から新開地、三宮へ。